



受大監第 29 号
令和 5 年 8 月 24 日

大山町長 竹口 大紀 様

大山町監査委員 石黒 澄男
大山町監査委員 野口 俊明



令和 4 年度大山町水道事業会計決算審査意見書

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定により審査に付された令和 4 年度大山町水道事業会計決算書及び関係書類を審査したので、下記のとおり意見を付します。

記

1. 審査の概要

令和 5 年 7 月 27 日に下記の決算書及び関係諸帳簿を審査し、予算の執行状況が議決の趣旨に則し効率的かつ合理的に行われているか等について検討を加えつつ慎重に審査した。

その結果、決算計数は諸帳簿と合致しており、いずれも正確であることを認めた。

2. 審査した書類

- (1) 令和 4 年度大山町水道事業会計決算書
- (2) 令和 4 年度大山町水道事業会計決算附属書類

3. 執行状況

消費税を除いた本年度の収益的収支における総収益は 2 億 8,875 万円、総費用は 2 億 8,412 万 8 千円で、当年度純利益は 462 万 2 千円となっている。

4. 業務内容

区分	令和 3 年度	令和 4 年度	比較	
			増減	(%)
年度末給水人口 (人)	13,730	13,582	△148	98.9
年度末給水栓数 (栓)	5,897	5,892	△5	99.9
年間総配水量 (m ³)	1,821,730	1,810,397	△11,333	99.4
年間有収水量 (m ³)	1,404,278	1,409,492	5,214	100.4
有収率 (%)	77.1	77.9	0.8	-

5. 結び

本町においては、水源地、配水池など施設の更新が行われつつあり、管路施設についても旧中山町地区から布設替えが順次進められる見通しである。施設更新にあたっては、今後ますます支出額が増え厳しい経営状況になることが見込まれており、本格的な料金改定に向けた検討を順次進められたい。

